

支援くださった団体（物資）とボランティアの方々

日本周産期・新生児医学会では、下記の支援物資をボランティアの方々の協力のもと3月18日(金) 東北大学に、20日(日) に国立福島病院に発送しました。

<宮城県、福島県支援物資リスト>

カネソン：母乳パック約3,000枚

コヴィディエン ジャパン株式会社：帝王切開セット（5）、手袋（4,000枚）

エルクコーポレーション：オートクレーブ（1）

日本産婦人科医会で提供を受けた物資：紙オムツ（約26,000枚）

亀田病院：分娩キット（5）、お産セット（8）、帝王切開セット（14）、滅菌ガウン（50枚）、1包化消毒剤（2,000包）、ディスポ手袋（1,000枚）、滅菌ガーゼ（600枚）などダンボール26箱

国立成育医療研究センター総合診療部：在宅吸引チューブダンボール1箱

国立成育医療研究センター：離乳食、粉ミルク、飲料水、トイレットペーパー、生理用品、食品などダンボール8箱

国立高知大学：分娩セット、ディスポ手袋、粉ミルク、おしりふきなど医療品

国立岡山大学：開腹キット（10）、滅菌ガウン・手袋・オペキャップ・マスク、ガーゼ、綿球、針、糸、消毒剤、チューブ、点滴セット、輸液、テープ、分娩セット（8）などダンボール18箱

明治乳業（日本産婦人科医会？）：粉ミルク（320缶）

ホンダカーズ南栃木：バスタオル、フェイスタオル、ティッシュペーパー、クレヨン、ブランケットなどダンボール12箱

日本周産期・新生児医学会：毛布ダンボール8箱(96枚)

東急建設：ガソリン40L

佐野慎一先生、成瀬医院など

記載もれのあった先生方も大勢いらっしゃいます。

合計で2トントラック1台分（東北大学）、4トントラック1台分（国立福島病院）

<ボランティア頂いた方々>

東急建設株式会社（水谷景洋常務、鈴木高志土木部長、下村達也土木設計部部長、その他大勢の皆さま）、西澤和子先生（厚生労働省大臣官房国際課国際協力官）

（以下、所属敬称略）

鈴木雄一、田中秀朋、吉田幸洋、吉田司、本間洋子、鈴木真、田中亜由子、村田慎哉、久保敦俊